

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度

令和元年度

市町村名	吉見町		
提案事業名	水と共に暮らす町を知る拠点づくり事業		
事業期間	令和元年度	～	令和3年度
事業の必要性、目的	川の国埼玉はつらつプロジェクトで整備された親水空間や遊歩道等を有効に活用しながら、テーマに沿った水と共に暮らす町を知ることで、農業水利施設が住民生活に深く関わりがあることの理解を深めながら、地域の振興を図る。		
成果指標	(成果を検証する指標) 文覚川に対する満足度		
	(成果検証の具体的な方法) 周辺住民へのアンケート実施（事前調査の回収数と同じ78人程度）		
	(上記の指標を設定した理由) 文覚川とさくら堤公園が一体となるよう整備することで、文覚川にも愛着を持ち、地域の満足度の向上が期待できるため 文覚川に関するアンケート(川の国埼玉はつらつプロジェクトにて実施)H30.2実施		
	現状値 (30年2月現在)	満足：3% やや満足：3%	目標値 (5年3月時点)
	満足・やや満足：45%		
	(施設建設等の場合)		
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	近隣住民への回覧		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 町営駐車場整備事業	ハード ソフト 間接補 遠方からの来訪者が安全で快適に駐車場を利用できるよう整備し、利用者の満足度の向上を図る。	14,190
② 農業学習施設整備事業	ハード ソフト 間接補 農業水利施設の役割を知り、理解を深めることで、農業と地域の振興と満足度の向上を図る。	1,330
③ さくら堤公園整備事業	ハード ソフト 間接補 さくら堤公園を利用しやすく整備し、来訪者の満足度の向上を図る。	21,685
④ 農業用水学習施設整備事業	ハード ソフト 間接補 文覚川を流れる水について、理解してもらい、水に対する愛着を持ってもらうことで、地域の満足度の向上を図る。	670
⑤ 安全対策事業	ハード ソフト 間接補 文覚川沿いの安全施設を整備し、安心して歩くことで、文覚川に対する満足度の向上を図る。	37,000
⑥ 農業水利施設学習事業	ハード ソフト 間接補 整備された施設を活用して、町内の農業水利施設を巡りながら、役割について理解を深め、地域の満足度の向上を図る	500
⑦ 農業水利施設学習事業	ハード ソフト 間接補 農業水利施設が地域の生活と深く関わっていることを学習するため、地域の農家・非農家を対象としたイベントを開催する	500
合計		75,875

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	川の国埼玉はつらつプロジェクトで整備された施設とさくら堤公園に様々な手段で来訪する観光客に、快適で安心して利用できるような対策を行う。
成果指標の達成見込み	整備された親水空間や遊歩道を実際に利用してもらうことで、愛着を持ち満足度の向上が期待できる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。